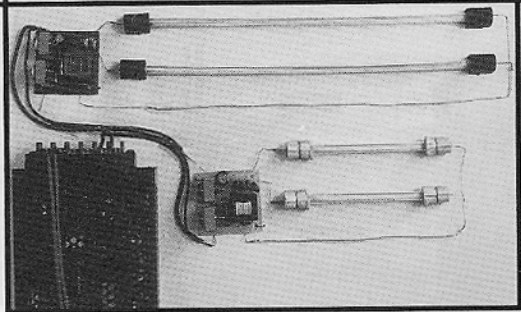


超高輝度・長寿命・低熱の バックライト用蛍光ランプ



入賞 東京電測（株）

液晶ディスプレイ用バックライトの主役は今のところ蛍光ランプだが、冷陰極ランプは輝度が小さく（3,000ニット）熱陰極ランプは寿命が短い（3,000時間）という悩みをかこっている。また、高熱を大敵とする液晶の保護も大きな関心事。これらの難題を解決するため、2種類の電極で2種類の放電（現状は1電極、1放電）を行う蛍光ランプの登場となった。

グロー放電とアーク放電の相乗効果によって輝度20,000ニット以上、寿命10,000時間以上、発熱量も液晶に負担をかけないハイブリランプ（商品名）の開発がそれである。

このほか、ランプ電流自動制御回路及び調光機能を持つインバーター（点灯電子回路）の開発もハイブリランプの独創性に一役買っている。